

石狩市市有林間伐促進プロジェクト～ニシンが群来（くき）る豊かな海を未来に繋ぐ森づくり～

いしかりJ-VER

【背景】 豊かな森林が海岸付近まで続く石狩湾北部の沿岸は、かつてニシンにより大いに繁栄しましたが、昭和30年ごろを境にニシンは姿を消し、後にはニシン御殿が昔の栄華を伝えるだけになりました。しかし近年、ニシンが浜に戻りつつあります。一部では、「群来」により海岸がエメラルドグリーンに染まる光景が、再び見られるようになりました。群来が起きるためには、海岸部にニシンが卵を産みつける海藻（草）の群落「藻場」が欠かせません。豊かな藻場が育つためには、間伐などにより森林を健やかに育て、落ち葉などからの有機物が海に流れ込む環境が必要です。「森が海を育てる」という認識は地域で共有され、間伐などの森林整備や市民による植林活動など、多くの取り組みが行われています。本プロジェクトは、豊かな森林を造成し、地球温暖化防止に貢献することはもちろん、「群来」に代表される、石狩の海の環境を回復し、未来へと引き継いでいこうとする取り組みです。

【内容】 ・厚田区・浜益区の市有林を適正に管理することにより、増加したCO₂吸収量で※J-VERを発行。
・販売収入を「環境まちづくり基金」に積立て、環境保全、間伐・植林活動や環境教育など広く活用。

※J-VERとは・・・省エネルギー機器の導入や森林整備などの取組によるCO₂の削減量又は吸収量を「J-VER」として国が認証する制度であり、市場流通ができ金銭的な価値を持つもの。事業者等が削減困難なCO₂排出量について、J-VERを購入しその埋め合わせに活用。

○いしかりJ-VERの取組み



○事業者等の使い方

